

# 三重県 デジタル社会の未来像

- 全体版 -



令和4年 3月  
三重県

1. デジタル社会の実現に向けた社会の変化	2
2. インタビュー及びワークショップから見るデジタル社会への期待	11
みえDX未来インタビュー	14
みえDX未来ワークショップ	28
3. デジタル社会の未来像 2050	48
デジタル社会の未来像 2050 全体像	49
県民の皆さんの生活	50
県民の皆さんと社会	52
社会の構造	54
三重県の魅力	56

# 1. デジタル社会の実現に向けた社会の変化

国のデジタル社会形成が推進される中、新型コロナウイルス感染症への対応において、官民におけるデジタル化をめぐる様々な課題が明らかになりました。今後地域からのデジタル実装の推進が期待される中で、三重県においてもDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進によるデジタル社会形成が急務となっています。

## 国のデジタル社会形成

- 行政・暮らし・産業のデジタル化を推進し、デジタル社会の形成を目指している
- 「デジタル田園都市国家構想」では、地方からのデジタル実装による都市と地方の格差解消が掲げられている

## コロナ禍で顕在化した課題

- 新型コロナウイルス感染症拡大への対応を通じ、行政におけるデジタル化の課題が顕在化した
- ✓ 特別定額給付金について、申請から給付までの一貫したデジタル完結ができず迅速な給付等に支障が出たケースがあった
  - ✓ 雇用調整助成金について、急遽システムを整備したことで複数のシステム障害が発生し運用停止を余儀なくされた
  - ✓ 保健所・医療機関からの陽性者の報告がファックスで行われるなど、データのリアルタイムでの共有、活用に課題があった
  - ✓ テレワークが重視される中、書面・押印・対面が法令や慣行により求められるため、出社を余儀なくされた等

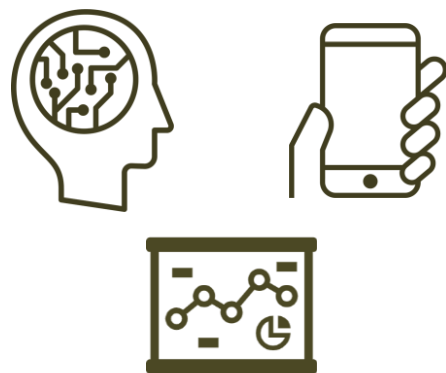
2020年12月	デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針 閣議決定
2021年9月	デジタル庁 設置
2021年9月	デジタル社会推進会議 / デジタル社会構想会議 設置
2021年11月	デジタル田園都市国家構想実現会議 / デジタル臨時行政調査会 設置
2021年12月	デジタル社会の実現に向けた重点計画 閣議決定（新重点計画）

# DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは

DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、「デジタルを活用することにより、時間短縮や付加価値の向上を実現すること」を指す言葉です。

DXの実現自体を目的とするのではなく、社会の変容・変革により、どのような新たな繁栄をもたらしたいのかを考えることが、DXを推進するうえで重要な点になります。

## D (Digital)



デジタル技術の活用  
（インターネット、AI、  
ビッグデータ等）

## X (Transformation)



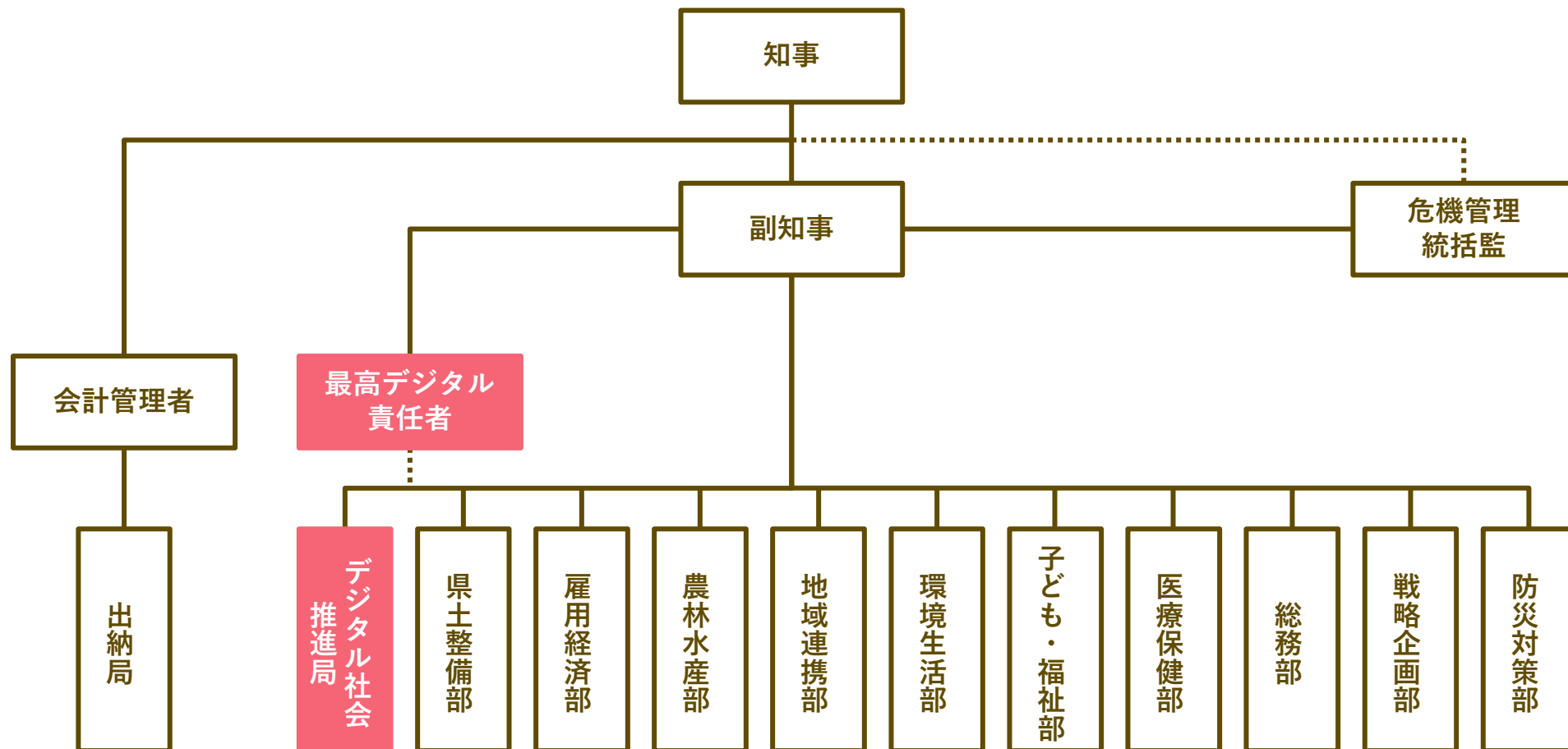
時間短縮や付加価値  
の向上を実現…



生活や仕事のありか  
たなど、社会の変  
容・変革により、新  
たな繁栄をもたらす

# 三重県のデジタル社会形成に向けた体制整備

三重県では、令和3年4月より「最高デジタル責任者」と「デジタル社会推進局」を設置し、県内全域でデジタル社会形成が進むよう、新たな体制をスタートしました。



三重県では、デジタル社会形成を推進するうえで、ジェンダー平等を含んだ多様性や包摂に基づく「寛容な社会」を前提条件として、県民の皆さんの心豊かな暮らしと地域の持続可能性を目指し、みんなの想いを実現する「あったかいDX」を推進しています。

デジタル社会  
形成の方向性

誰もが住みたい場所に住み続けられる三重県

あったかいDX

DXによって、県民の皆さんの時間に余裕が生まれ、家族や恋人との時間や趣味の時間、学びの時間として活用できるようになり、幸福実感が向上していくこと

デジタル社会  
の前提条件

ジェンダー平等を含んだ多様性や包摂に基づく「寛容な社会」を前提条件として、県民の皆さんの心豊かな暮らしと地域の持続可能性を目指す

「あったかいDX」を推進した先に、どのような三重県の未来があってほしいのかを県民の皆さんと一緒に検討することが、デジタル社会を実現する第一歩になります。

本書は、三重県のデジタル社会の未来について、インタビューやワークショップを通じて県民の皆さんと一緒に考え、意見やアイデアを未来像として取りまとめました。また、皆さんと共に考えた未来像の実現に向けて、デジタル活用の主な観点を整理しています。

一般的な  
デジタル関連  
計画等

行政と有識者等とで方向性を検討することが多い

三重県  
デジタル社会の  
未来像

県民の皆さんが描いた未来のありたい姿に基づいて未来像を明確にする



未来を考えていくうえでは、今後地球規模で直面する課題やデジタル技術の進化を捉える必要があります。

本書を取りまとめるうえでは、想定されうる未来の構成要素について紹介した「みえDX未来動画 2050」の視聴を通じて未来に関する3つの視点について県民の皆さんと共通認識を形成したうえで「未来のありたい姿」を考えるアプローチをとりました。

## ① わたしたちが 直面する課題

これまでの社会が引き起こした  
地球規模の課題

- 地球温暖化
- 自然災害（地震）
- 人口爆発・食糧問題
- 少子高齢化

## ② DXがもたらす 社会や暮らしの変化

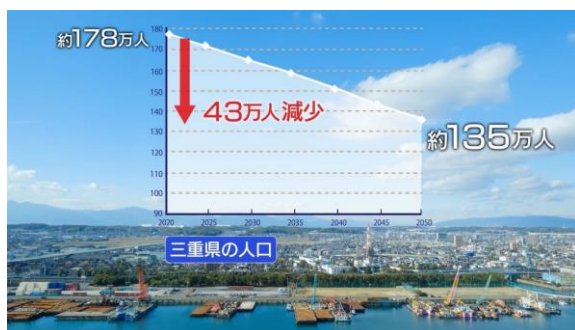
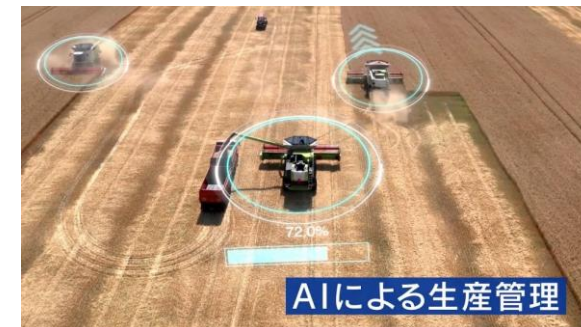
デジタル技術による  
良い面と悪い面 その選択

- 多様な人との共生
- 暮らしやすいまち
- 個に適した医療・教育
- DXのリスク  
（分断・格差・貧困、差別、  
監視社会）

## ③ テクノロジーの進化による 未来の可能性

これまでの枠にとらわれない  
未来社会の可能性

- 地球規模のAIと食糧問題解決
- 仮想現実
- モビリティ革命
- 再生医療・寿命延長
- 生殖医療の発展
- AI・ロボットとの共生



① わたしたちが  
直面する課題

② DXがもたらす  
社会や暮らしの変化

③ テクノロジーの進化による  
未来の可能性

未来の可能性を考えるため、2050年という現在の影響が及ばないほどの未来を起点とし、三重県のデジタル社会形成に向けた方向性について共通認識を形成します。

これが、本書「三重県 デジタル社会の未来像」です。

現状の制約にとらわれず、  
未来の姿を描く



未来の三重の  
ありたい姿

DXでどのように  
実現させるかを考える  
(次のステップ)

## 2. インタビュー及びワークショップから見る デジタル社会への期待

# 県民の皆さんの対話によって描かれる未来の姿

インタビューやワークショップでは、2050年という現在の影響が及ばないほどの未来を起点に、三重県のありたい姿について県民の皆さんと一緒に対話しながら考えました。

現状の制約にとらわれず、  
未来の姿を描く

インタビュー及び  
ワークショップで対話

未来の三重の  
ありたい姿

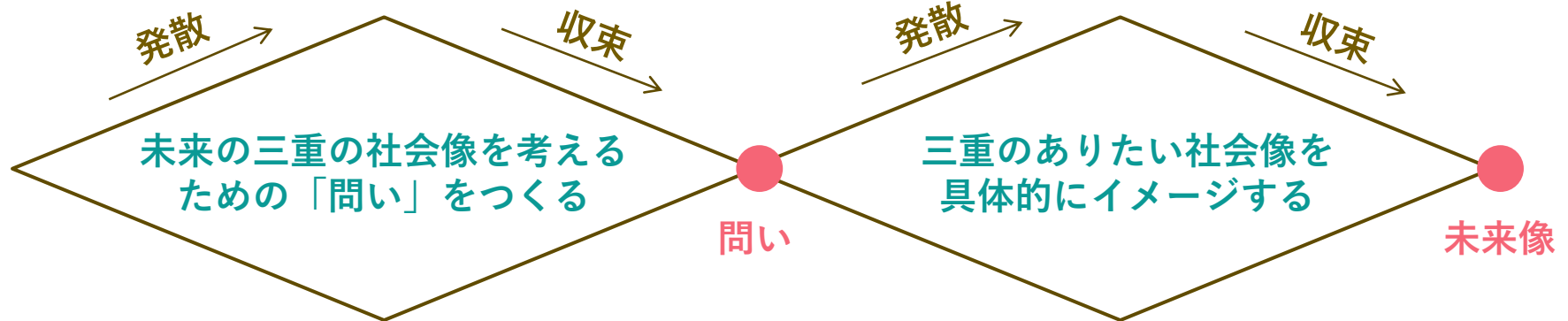
現状

DXでどのように  
実現させるかを考える  
(次のステップ)

県内各地でのインタビューを通じて、2050年の三重のありたい姿を考える着眼点（問い）を探り、問いをもとにしてワークショップでイメージを具体化しました。

## みえDX未来インタビュー

## みえDX未来ワークショップ



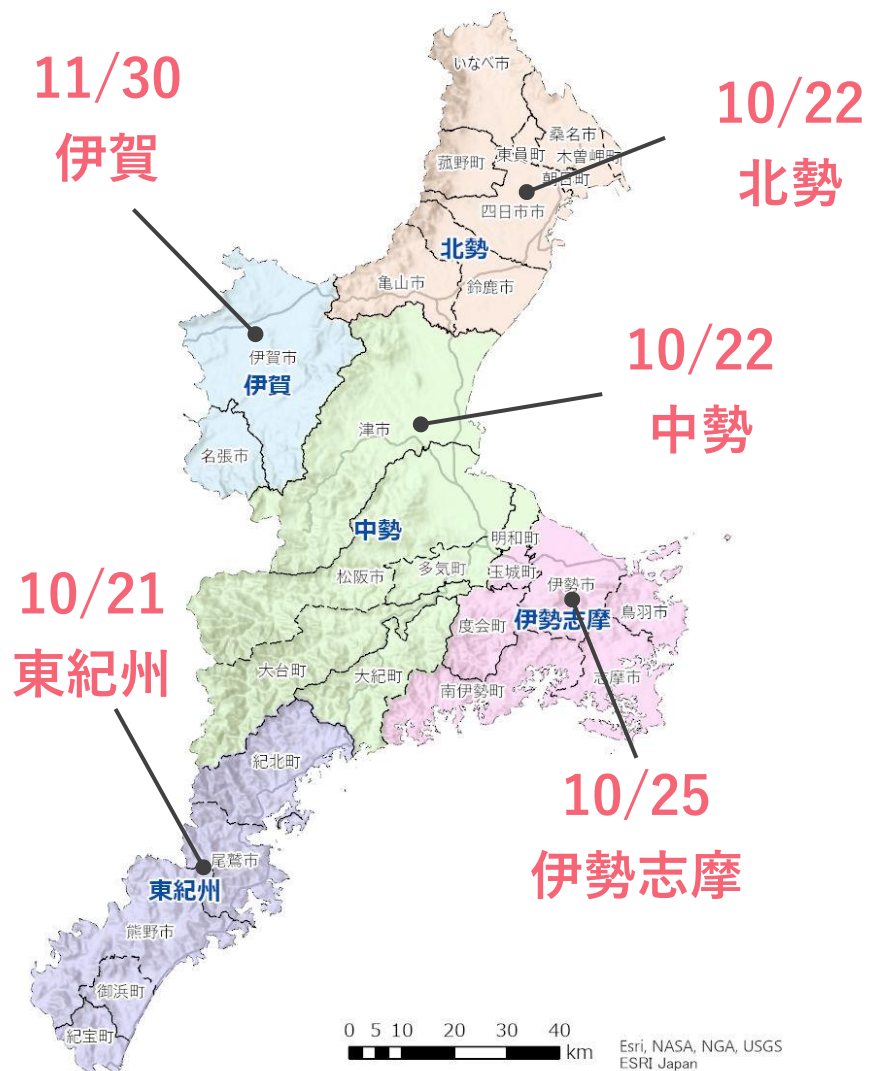
- ✓世界、日本、三重の未来はどうか？
- ✓どんな想いをつないでいきたいのか？
- ✓実現のためにどんな課題があるのか？

- ✓「問い」を起点に、2050年の未来のイメージ（アイデア）を思い浮かべる
- ✓アイデアを眺めながら、ありたい未来の姿を定める

# みえDX未来インタビュー

# みえDX未来インタビューを県内各地で実施

インタビューは、2021年10月から11月にかけて県内の各地で実施しました。





三重県内の5か所において、3名～5名のグループインタビュー形式で実施しました。

日時	場所	参加者情報
2021年10月21日(木) 14時30分～16時30分	東紀州（尾鷲市） （会場：熊野古道センター）	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代～50代の男女5名 （製材業、漁業、自営業、農業）</li> </ul>
2021年10月22日(金) 9時00分～11時00分	北勢（四日市市） （会場：三重県四日市庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代～40代の男女4名 （製造業、コンサルティング業）</li> </ul>
2021年10月22日(金) 13時30分～15時30分	中勢（津市） （会場：つじ農園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代～40代の男女3名 （農業、サービス業、学生）</li> </ul>
2021年10月25日(月) 16時30分～18時30分	伊勢志摩（伊勢市） （会場：FOLK FOLK）	<ul style="list-style-type: none"> <li>30代～40代の男女3名 （サービス業、小売業、飲食業）</li> </ul>
2021年11月30日(火) 14時30分～16時30分	伊賀（伊賀市） （会場：三重県伊賀庁舎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>30代～80代の男女4名 （自営業、業界団体、自治体）</li> </ul>

「みえDX未来動画 2050」を視聴したうえで、参加者ご自身や身のまわりの方、そして三重県の「2050年のありたい姿」をお伺いしました。

## 1. 「みえDX未来動画 2050」を視聴した印象

- 共感した点、嫌だと感じた点
- そのように感じた理由

## 2. 2050年の未来を想像した際の、ご自身や住んでいる地域のありたい姿 (イメージを共有いただく)

- どこに住んでいたいのか、どんな仕事をしていたいのか、どんな余暇をすごしたいのか、等
- 地域にはどんな人が住んでいるか、どの程度人口が増えている / 減っているか、等
- 上記を想像した際に、現在感じる期待や不安は何か

## 3. デジタル技術やDXに期待すること

# 各地域での県民の皆さんの声サマリ (1/2)

	北勢	中勢	伊勢志摩
1. 仕事や働き方に関して	<p>✓ <u>どこでも働ける未来が良い</u></p> <p>70歳になっても仕事を続けていたい 旅行しながら働くワーケーションも</p>	<p>✓ <u>どこでも働ける未来が良い</u></p> <p>✓ <u>好きなこと、得意なことを仕事にした</u> <u>い</u></p>	<p>✓ <u>好きなこと、得意なことを仕事にしたい</u></p> <p>仕事はお金が儲かるか儲からないか問わず、楽しいことをやってほしい。</p>
2. 住む場所、暮らしや移動に関して	<p>✓ <u>好きな場所へ簡単にいき来できる暮らしがしたい</u></p> <p>平日は名古屋で働き、週末は三重に帰ってきて自然に囲まれて生活したい</p>	<p>✓ <u>モビリティや医療を含め、生活インフラに心配がなく安心して住み続けたい</u></p> <p>✓ <u>格差がなく、選択肢がたくさんある未来が良い</u></p>	<p>✓ <u>世界中を旅行していきたい</u></p> <p>教育格差、地域格差、職業格差がなくなしてほしい</p>
3. さまざまな人との交流について	<p>✓ <u>人と人がつながれる場所、コミュニティをつくっていきたい</u></p> <p>✓ <u>外国人との関係性構築を進めたい</u></p> <p>全てがバーチャルになるのではなく、実際に体験できる場所は残してほしい</p>	<p>県外の人や海外の人がどんどん来るのはうれしい</p> <p>✓ <u>県外からたくさんの人に来てもらいたい</u></p> <p>どこでもドアができて、会いたい人にすぐ会えるように</p>	<p>✓ <u>県外からたくさんの人に来てもらいたい</u></p> <p>✓ <u>人と人がつながれる場所、コミュニティをつくっていきたい</u></p> <p>✓ <u>遠くに住む人と気軽に交流できるようになってほしい</u></p> <p>✓ <u>世代間の関係性構築を進めたい</u></p>
4. 社会の変化のありかた、残したいものに関して	<p>✓ <u>DXが進んでも体験価値を大事にしたい</u></p> <p>✓ <u>DXが進んでも人（感覚や人とのつながり）を大事にしたい</u></p> <p>✓ <u>DXが進んでも自然や今の街並みを残したい</u></p>	<p>✓ <u>DXが進んでも自然や今の街並みを残したい</u></p> <p>変えないために変わるという考えかもしれない。</p>	<p>✓ <u>変えるもの変えないもののバランスを大事にしたい</u></p> <p>✓ <u>DXが進んでも体験価値を大事にしたい</u></p> <p>✓ <u>未来に今の衣食住環境を残したい</u></p>

# 各地域での県民の皆さんの声サマリ (2/2)

	伊賀	東紀州
1. 仕事や働き方に関して	<p>✓ <u>どこでも働ける未来</u>が良い</p> <p>伊賀市にしながらどこでも働けることを実感している。2050年には伊賀の古民家に住みながらニューヨークやパリに出店したい</p>	<p>✓ <u>三重の地域じゃないとできない仕事</u>を作りたい</p> <p>尾鷲にしながら他の土地の仕事もできるようにして、移住者を増やしていけると良い</p>
2. 住む場所、暮らしや移動に関して	<p>✓ <u>好きな場所へ簡単に行き来できる暮らし</u>がしたい</p> <p>✓ <u>生活インフラに心配がなく</u>安心して住み続けたい</p> <p>モビリティを発展させていけないと、個人の住みたいところに住めない</p> <p>✓ <u>仮想空間で暮らしを楽しみたい</u></p> <p>✓ <u>格差がなく、選択肢がたくさんある未来</u>が良い</p>	<p>✓ <u>モビリティや医療を含め、生活インフラに心配がなく安心して住み続けたい</u></p> <p>✓ <u>仮想空間で暮らしを楽しみたい</u></p> <p>映画館や美術館が近くにないので、バーチャルに行った感覚で見られるようになると楽しそう</p> <p>✓ <u>格差がなく、選択肢がたくさんある未来</u>が良い</p>
3. さまざまな人との交流について	<p>✓ <u>県外からたくさんの人に来てもらいたい</u></p> <p>✓ <u>外国人との関係性構築</u>を進めたい</p> <p>外国人の方から日本一住みやすい都市と言われたい</p>	<p>✓ <u>県外からたくさんの人に来てもらいたい</u></p> <p>✓ <u>遠くに住む人と気軽に交流できるようになってほしい</u></p> <p>✓ <u>世代間の関係性構築</u>を進めたい</p> <p>若い人たちの考えていることがうまく上の世代に伝わっていない。世代間の関係性をもっとうまく構築できれば</p>
4. 社会の変化のありかた、残したいものに関して	<p>✓ <u>新しい概念を他府県より先に適用していく必要がある</u></p>	<p>✓ <u>DXが進んでも人（感覚や人とのつながり）を大事にしたい</u></p> <p>ロボットも大事だが、人を育てていくことも必要だと思う</p>

## 1. 仕事や働き方に関して

### どこでも働ける未来が良い

- ✓ 育児中なので、どこでも働ける未来になると良いと思った。（中勢/40代/女性）
- ✓ 70歳になっても仕事を続けていたい。山奥でテレワークがしたい。（北勢/40代/女性）
- ✓ 旅行しながら働くワーケーションも良いと思う。（中勢/20代/男性）
- ✓ コロナ禍において、デジタル時代の現代では、伊賀市にしながらどこでも働けることを実感している。2050年には伊賀の古民家に住みながらニューヨークやパリに出店したい。（伊賀/30代/女性）
- ✓ 会社や学校で外に出なくてもいい社会になっていれば、伊賀という場所に住みたいと思ってくれる人が増えるのではないかと（伊賀/30代/女性）

### 三重の地域じゃないとできない仕事を作りたい

- ✓ 田舎じゃないとできない仕事をいっぱい作っていく、残していく必要がある。（東紀州/20代/男性）
- ✓ 尾鷲にしながら他の土地の仕事もできるようにして、移住者を増やしていけると良い。（東紀州/30代/男性）
- ✓ 尾鷲の自然を生かして仕事を作っていけると、尾鷲の土地に残りたい若い人も残れるし、自然も残していけるのではないかと。（東紀州/50代/女性）

### 好きなこと、得意なことを仕事にしたい

- ✓ 稼げる、稼げないではなく、好きなことを仕事にしていけるようになりたい。（中勢/20代/男性）
- ✓ 仕事はお金が儲かるか儲からないか問わず、楽しいことをやっていきたい。楽しくないことはやりたくない。（伊勢志摩/40代/男性）
- ✓ 得意な人が得意なことをできる環境にしていけると良い。例えば、行政の資料をつくる時も、職員でなくてもきれいな資料を作るのが得意な人が作ったほうが良いと思うことがある。そういう枠を超えていけると良い。（伊勢志摩/30代/女性）

## 2. 住む場所、暮らしや移動に関して（1/2）

### 好きな場所へ簡単に行き来できる暮らしがしたい

- ✓ 海が好きなので、朝起きてすぐ海に行ってすぐ帰ってこれるような生活がしたい。（北勢/40代/男性）
- ✓ 平日は名古屋で働き、週末は三重に帰ってきて自然に囲まれる豊かな生活をしたい。（北勢/20代/男性）
- ✓ 30年後には日本を飛び出して色々なところに住んでいるかもしれない。（伊賀/60代/男性）
- ✓ 30年後は70代後半で第二の人生を歩んでいると思う。そのときは定年退職して世界中を旅行していきたい。（伊勢志摩/40代/男性）

### モビリティや医療を含め、生活インフラに心配がなく安心して住み続けたい

- ✓ 2050年といわず、もっと近い未来に技術による課題解決が進むと嬉しい。高齢者に対する移動支援のボランティアを行っているが、自動運転が実現すれば運転できない人も移動が楽になりそう。（東紀州/30代/男性）
- ✓ 自分が年を取ったときに、人口も減りインフラがどうなるかが心配。モビリティや医療の問題が解決できればみんなが好きなところに住み続けられるのではないかと感じた。（東紀州/30代/女性）
- ✓ 地震などの自然災害があった際、過疎地の復興は遅れがちになるのではないかと不安になる。（東紀州/30代/女性）
- ✓ 自然がたくさんあって、近所の人もみんな知り合いである今の住まいに子供たちが住み続けたいと言っている。その思いを大切にしたい。便利だけを求めて住みたいところに住めないのはつらい。（中勢/40代/女性）
- ✓ モビリティを発展させていけないと、個人の住みたいところに住めない。（伊賀/80代/男性）

## 2. 住む場所、暮らしや移動に関して（2/2）

### 仮想空間で暮らしを楽しみたい

- ✓ 映画館や美術館が近くにないので、バーチャルに行った感覚で見られるようになると楽しそう。（東紀州/30代/女性）
- ✓ 買い物などが困っているので、仮想空間で買い物できたら良いと思う。（東紀州/30代/女性）
- ✓ 写真を趣味にしているので、30年後には仮想で展覧会をしているかもしれない。（伊賀/60代/男性）

### 格差がなく、選択肢がたくさんある未来が良い

- ✓ 教育格差も技術で解決できるようになると良いと思った。（東紀州/30代/女性）
- ✓ 地域格差や職業格差がなくなってほしい。（中勢/40代/男性）
- ✓ 子供の選択肢が増えると良い。（中勢/40代/女性）
- ✓ 三重にいながらどんな教育でも受けられる三重であってほしい。（伊賀/30代/女性）

## 3. さまざまな人との交流について（1/2）

### 県外からたくさんの人に来てもらいたい

- ✓ どんどん人が来て賑やかになって、気に入ってくれた人が住み続けてくれたら嬉しい。（東紀州/50代/女性）
- ✓ 地域が閉鎖的になるとすたれてしまう。観光だけでなく、アイデアや事業や人などいっぱい来てほしい。東京の人が来ると、ちょっとしたことにも感動してくれる。地域にはもっと資源があるはず。（伊勢志摩/30代/男性）
- ✓ 自分は外国に行くのが好きなので、県外の人や海外の人がどんどん来るのはうれしい。（中勢/40代/男性）
- ✓ 観光地ではないので、外の人に対して閉鎖的な部分はあったが、最近は変わってきていると感じる。2050年といわず、近い将来もっと外の人との関係性が変わってくるのではないか。（東紀州/50代/女性）
- ✓ 空き家も増えてきているので、そこに農業をしたいという方が越してきてくれたら良い。（伊賀/60代/男性）

### 人と人がつながれる場所、コミュニティをつくっていききたい

- ✓ 色々な人が交わる場所、受け皿をつくっていききたい。（伊勢志摩/30代/男性）
- ✓ 人と人との触れ合いが減り、孤独な人が増えるからコミュニティが大事になるだろう。（北勢/40代/男性）
- ✓ 伝統産業に職人が携わるだけでなく、例えば陶芸を介して地域の人がつながるようになると嬉しい。（北勢/20代/男性）

### 遠くに住む人と気軽に交流できるようになってほしい

- ✓ どこでもドアができて、会いたい人にすぐ会えるようになってほしい。（伊勢志摩/30代/女性）
- ✓ 遠くに住む家族と気軽に会えるようになると嬉しい。（東紀州/30代/男性）



## 3. さまざまな人との交流について（2/2）

### 世代間の関係性構築を進めたい

- ✓ 若い人たちの考えていることがうまく上の世代に伝わっていないように思う。世代間の関係性がもっとうまく構築できると良い。（東紀州/30代/男性）
- ✓ 動画で描かれているような社会問題に対応していくにあたり、異なる世代の関係性構築が重要だと感じる。若い世代がアイデアを出し、その上の世代は人脈や資金で支援するなどの連携ができないか。（伊勢志摩/30代/男性）

### 外国人との関係性構築を進めたい

- ✓ 同時通訳ができるようになって、それだけでは外国人との心の障壁を取り払うのは難しい。関わりを持つことが大事ではないか。（北勢/40代/女性）
- ✓ 自動翻訳ができるようになり、自分も四日市にいる外国人もお互いが安心して過ごせるようになってほしい。（北勢/30代/女性）
- ✓ 外国人の方から日本一住みやすい都市と言われたい。（伊賀/30代/女性）

## 4. 社会の変化のありかた、残したいものに関して（1/2）

### 変えるもの変えないもののバランスを大事にしたい

- ✓ 変えていくものは変えていく、変えていってはいけないものは変えないというバランスを大事にしたい。変えないために変わるという考えかもしれない。（伊勢志摩/40代/男性）

### 新しい概念を他府県より先に適用していく必要がある

- ✓ 新しい概念に対し他府県より先に対応や適用していくことが必要。（伊賀/60代/男性）

### DXが進んでも人（感覚や人とのつながり）を大事にしたい

- ✓ DXが進んでも人とのつながりは持っていたい。人口減少するなら余計にそう感じる。（北勢/40代/男性）
- ✓ ロボットも大事だが、人を育てていくことも必要だと思う。（東紀州/20代/男性）
- ✓ 人間としての感覚を大事にしていく必要があるのではないか。（東紀州/20代/男性）

### DXが進んでも自然や今の街並みを残したい

- ✓ DXがすすんでいても、自然に親しむ生活は残ってほしい。（北勢/40代/女性）
- ✓ 街が変に近代的に変わってしまうのは嫌だ。（中勢/20代/男性）

## 4. 社会の変化のありかた、残したいものに関して（2/2）

### DXが進んでも体験価値を大事にしたい

- ✓ 全てがバーチャルになるのではなく、実際に体験できる場所は残っていてほしい。（北勢/40代/女性）
- ✓ 観光は江戸時代から変わらない。その場の空気を感じることが大事。電子空間で伊勢神宮をお参りするような代替はされないのではないか。（伊勢志摩/40代/男性）
- ✓ AIが自分にあったものを選んでくれるため大量生産でなくなるという話もあったが、自分が商品を選ぶときは1点物で作り手の想いが見える事、つまりストーリーがあることの価値を大事にしている。（伊勢志摩/30代/女性）
- ✓ DXですべてが数値化される点には違和感がある。例えば、本に関しても本屋での出会いとAmazonでの出会いはまた違うものではないか。（伊勢志摩/30代/女性）

### 未来に今の衣食住環境を残したい

- ✓ 今の素晴らしい衣食住の環境を2050年でも維持し続けていきたい。（伊勢志摩/30代/男性）
- ✓ 今あるおいしい野菜を2050年になっても食べたい。子供たちにも食べさせたいし、おいしいという感動を失ってほしくない。食事の目的が栄養摂取になり、おいしさを楽しむことがなくなってほしくない。（伊勢志摩/30代/男性）

# インタビューから見えてきた「問い」

インタビューで見えてきた県民の皆さんの「未来のありたい姿」を受けて、ワークショップでさらに様々な方々と「未来のありたい姿」を具体的に描くために、4つの問いにとりまとめました。

## 問い1

2050年、好きな仕事、働き方ができるとしたら、どう働きたい？

## 問い2

2050年、どこに住んでいても暮らしや移動が不自由なくできるとしたら、何がしたい？

## 問い3

2050年、色んな人と交流できるとしたら、誰と、何がしたい？

## 問い4

2050年、社会が変化したとしても、どうしても絶対残したいものは何？

# みえDX未来ワークショップ

# みえDX未来ワークショップを開催

ワークショップは2021年11月上旬にオンラインで計3回開催し、三重県在住または三重県への移住・U/Iターン検討中、三重県出身の計52名の方にご参加いただきました。

## みえDX未来 ワークショップ

2021年11月 3日 (水・祝) 13:00 - 16:00  
11月 6日 (土) 13:00 - 16:00  
11月10日 (水) 18:00 - 21:00

オンライン開催 (Zoom)



# みえDX未来ワークショップ参加者情報

各回において、18歳～49歳の方を中心に幅広い年齢層の方にご参加いただきました。

単位：人

開催回	18歳未満	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	合計
1回目 11月3日（水・祝）	0	7	3	5	1	1	1	18
2回目 11月6日（土）	3	5	2	4	3	0	0	17
3回目 11月10日（水）	0	8	4	3	0	1	1	17
合計	3	20	9	12	4	2	2	52

# みえDX未来ワークショップの構成

「みえDX未来動画 2050」によりデジタル社会の共通認識を醸成したうえで、未来の三重の姿についての発想と対話を行い、「未来の三重のありたい姿」について参加者それぞれの思いを導出しました。

動画  
視聴

「みえDX未来  
動画 2050」  
を視聴する

ワーク1

動画を視聴して  
感じたことや  
ありたい姿  
を対話する

ワーク2

インタビューから見え  
てきた問いをもとに  
三重の未来の姿  
を具体的に発想する

ワーク3

未来の三重の  
ありたい姿  
について改めて  
対話する



# ワーク1の実施結果

「動画を視聴して良いと思った点、嫌だと感じた点」

## 良いと思った点

### • モビリティの進歩

- 自動運転で交通事故がなくなる
- 交通弱者も移動しやすくなる

### • ダイバーシティ

- 国籍や性別に関係なく誰もが活躍出来る

### • 医療の進歩

- 再生医療やAI医療で長生き出来る
- 遠隔治療でどこでも同じレベルの医療を受けられる

### • 個人情報共有のスマート化

- 身分証の代わりに指紋などの生体認証が出来れば手ぶらで外出出来る

### • 自動同時通訳

- 多言語での講義が出来る
- 学んでいない言語が理解でき、コミュニケーションの幅が広がる

### • オンライン交流

- オンラインでの会話を通じて対面での出会いのきっかけが作れる
- 仮想空間で他県や他国の人と交流が出来る

### • DXとの共存

- 頭脳・肉体労働はAI、感情労働は人間が担う事で生産性が上がる
- 何かの問題を解決するためのツールとしてDXを活用する

### • 自由な働き方

- テレワークでどこに居ても仕事出来る

### • 自由な暮らし

- 誰もが住みたい所に住み続けられる
- 自分らしい時間の使い方が出来る

### 嫌だと感じた点

- **雇用格差**
  - 地域や障がい、国籍で雇用問題が起きる
- **AIによる仕事の代替**
  - 人間が出来る仕事に限られてくる
- **デジタル社会に取り残される不安**
  - 次世代のテクノロジーは便利な反面ついていけないかもしれない
- **コミュニティの分断**
  - 貧富の差の拡大が起きる
  - 監視社会による新たな差別が起きる
- **人間らしさの喪失**
  - 人間としての生きざまがなくなり無機質になる
- **環境問題**
  - 海面上昇による水没や地球温暖化による災害が深刻化する
- **少子高齢化による社会問題**
  - 人口減少問題・年金問題が顕著になる
  - 介護や家族間以外での問題が起きる
  - 過疎地域の医療が難しくなる
- **培養肉**
  - 松阪牛が無くなってしまう
- **個人情報の漏えい・悪用**
  - 自分の知らないところで誰かに情報を取られる
  - 情報を取られる仕組みをよく理解していない
  - 情報操作・自由の制限をされる
- **学びの喪失**
  - 便利になりすぎて（自動同時通訳の利用等）教育が疎かになる
- **食糧危機・紛争**
  - 食品ロスが頻繁に発生している

- **仕事**
  - 三重県に戻って地域貢献が出来る仕事がしたい
  - 場所・時間・年齢関係なく仕事したい
  - 仕事と趣味の境界線をなくして楽しんで働きたい
  - 結婚・出産などのライフイベントに関わらず働いていたい
- **暮らし**
  - 三重県で、自由気ままに生活・隠居をしたい
  - 都会で働いてから三重県に戻ってきたい
  - 家族と一緒に支え合う生活がしたい
  - 場所・時間関係なく好きな場所に行きたい
  - 介護や年金の必要がない、健康で自立した生活を送りたい
  - 地震などの災害があっても安心な暮らしがしたい
- **食べもの**
  - 食べても太らない食事を食べたい
  - 培養肉は食べたくない
- **人との関わり**
  - 年下の人から学べる大人になりたい
  - 「比べない」という価値観を大事にしたい
  - 年をとっても管理職ではなく、現場レベルの人と関わっていききたい
  - 自分の気が合う、趣味が合う人たちと一緒に仕事したり、遊んでいきたい
- **教育・育成**
  - 教育格差のない世界で子供を育てたい
  - ネットマーケを教えて貧困で悩んでいる自殺者を減らしたい
  - 子供に相手の想いを伝えたり、理解するなど、技術では出来ないことを教えたい

### • 新技術活用

- VRを使って海外の人や同じ趣味の人と繋がりたい
- 自動運転や空飛ぶクルマで効率的で事故のない移動をしたい
- 仮想空間で色々な人と交流し、現実世界では実現できないことをしてみたい
- 仮想空間で余生を楽しみたい
- AIで人の相性判断をしてストレスのない生活をしたい
- ゲームの世界の延長線で仕事がしたい

### • 文化

- 音楽や芸術などを通じて人の温かみは大事にしたい

### • 社会

- 子供たちが飛躍できる社会、土壌を作りたい
- 挑戦したら報われると思える社会にしたい

### • 自分時間

- 自分の趣味を満喫したい
- 農業を推進したい
- ボランティアなどを通して困っている人を助けたい

### 問い1

## 2050年、好きな仕事、働き方ができるとしたら、どう働きたい？

- 働くよりも次世代の育成をしていきたい
- 生産的に隠居したい
- 自由に副業できるようになりたい
- 在宅勤務したい
- 志摩からカルチャーを発信したい
- 働きたくない
- 仕事のためにではなく「生きることに働く」というセットにしたい
- 金銭的なことを気にせず趣味を活かせる仕事をしたい
- もっと色々な人と働きたい
- 畑仕事で田舎の良さを感じたい
- バーチャル空間をつないで仕事をしたい
- ワークেশョンしたい
- 国内と海外を拠点にしたい
- ドローンを使って悩みを解決したい
- Vチューバーをしながら地元の良さを広めてみたい
- 24時間仕事していきたい
- 色々な仕事を体験してみたい
- オンラインでも自分の仕事による人への貢献を感じたい
- サウナの文化を広げたい
- リアルでは自分の時間を楽しんで、仕事は仮想空間でしたい
- 同時進行で複数の仕事をしたい

### 問い2

2050年、どこに住んでいても暮らしや移動が不自由なくできるとしたら、何がしたい？

- 都会と同じ水準の教育を受けたい
- 世界中好きな所へ旅行に行きたい
- 習い事をしたい
- 色々な場所での暮らしを体験したい
- 亡くなった祖父母に会いに行きたい
- 全国のラーメンを食べに行きたい
- 都心部のお店に行きたい
- 気分次第で好きな所に住みたい
- 子供と一緒に学びたい
- 自然に囲まれて暮らしたい
- ディズニーランドに毎日行きたい
- 好きなアーティストのコンサートに行きたい
- 今やっている事業を全国・世界展開したい
- 自分と波長の合うコミュニティを見つけない
- 伊勢湾だけでなく、パラオと組んでコンパクトアイランドシティをつくりたい
- 長らく会えていない友人に会いたい
- 生活用品に困っている人に必要なものを届けたい
- 海外に留学したい
- 温泉巡りしたい
- お笑いや音楽を生で見たい
- 世界中の食材を取り寄せたい
- 小学生の一斉授業をしたい

### 問い3

## 2050年、色々な人と交流できるとしたら、誰と、何がしたい？

- 同じ趣味の人に会いたい
- 普段忙しい・遠くに住んでいる友人や家族に会いたい
- 日常生活で会えない人（社長、起業家、芸能人や作家など）に会いたい
- 世界中の人に三重県で働いてもらいたい
- 歴史上の偉人に会って話が聞きたい
- 外国人と交流・仕事したい
- 政治家に直接会って評価したい
- 高齢者を集めて何かしたい
- 世界中の耳の不自由な人と交流したい
- 世界各国の代表的な料理を教えてもらいたい
- 国際語（エスペラント語）を学んで使いたい
- 老後の生活に困っている方を集めた日本人コミュニティを作りたい
- 色々な世代の人と交流したい
- アイデアを持っている若い人や情熱のある人を応援したい
- 志摩まで来てくれた人と面白い事をしたい
- 他県の地域特有の文化について話を聞いてみたい
- 県外・国外関係なく年をとっても友達を作りたい
- 亡くなった人や宇宙人と交流したい
- 動物と交流したい

### 問い4

## 2050年、社会が変化したとしても、どうしても絶対残したいものは何？

- 三重県の自然環境（鈴鹿山脈など）
- 三重県の食材（松阪牛、酒、魚など）
- 三重県の観光資源
- 「風まち」島同士が連携した文化圏
- 哲学、信仰、人間性
- プロスポーツとスポーツ交流
- オフラインの交流・体験
- 人による教育
- 伝統文化（盆踊り、式年遷宮、伊勢神宮、お城など）
- 充実した交通インフラ
- 面倒くさがりすぎない気持ち
- 歴史的文献
- 日本の四季
- 食べる楽しみ
- 運転する楽しみ
- 各県の特徴・個性
- 苦勞の先にある充実感
- 幸せ・楽しいと感じる事
- 自給自足の村
- 方言
- 若気の至りや年功
- 新幹線の発車メロディー
- 日本語
- 三重県としてのアイデンティティ



### 誰もが人生を思いっきり楽しめる未来

- ・ 歳を取っても趣味や好きなことができる。人生を悲観して亡くなる人がいなくなり、それぞれが人生を謳歌する

### 生きる喜びを感じられる未来

- ・ 原点回帰し、人間として生きていくことが楽しいと思える

### 穏やかな未来

- ・ 三重の良さが残り、仕事や農作業をする、のんびりとほがらかな未来。地域のみんなで挑戦できるようになる

### 好きなことができる未来

- ・ ピアノやテニスなどができる

### ワクワクドキドキな未来

- ・ 食べるために生きるのではない

### 不自由の少ない未来

- ・ 仕事や行政手続き等の生活上の制約が解消され、余暇や自己研鑽など本当にやりたいことに時間をあてる

### 観光じゃなくずっと住みたい三重の未来

- ・ 三重県に住みたいと思ってもらえるようなコミュニティが三重県にある

### 働く人、住む人に優しい未来

- ・ 新しいアイデアを持つ若い人や新産業を生み出したい人に魅力を感じてもらえる

### 自由な働き方ができる未来

- ・ 時間や場所、お金に関係なく自由に楽しく働ける

### 仕事も生活も観光も豊かな未来

- ・ どこでも仕事と生活ができ、他県への観光も便利で、おいしい食事もある、ゆるやかな暮らし

### このままの三重県を続ける努力をする未来

- ・ 今の三重県の良い所を残し、自分の住みたい所に住みつつ、デジタル技術で人とのつながりを保つ

### 選択肢あふれる自由な未来

#### 自由な選択が紡ぎだす未来

- ・ 自分の好きなサッカーや観光で生活できる

#### 選択肢のある未来

- ・ 未来を同世代と共に語れて、自分のしたい事に取り組めるという選択肢がある

#### 時間・場所を選ばずにやりたいことが選べてみんなが活躍できる未来

- ・ 自由に自分のやりたいことで活躍ができる

#### 選択可能かつ地元の良さを残していく未来

- ・ 住む場所や生活の仕方を好きに選べる

#### 仮想空間を通じた未来

- ・ 仮想空間ならではの新しいことができる

#### 変化に対してしなやかでいられる、安心できる未来

- ・ 変化に柔軟に対応し、今までやっていなかったことに挑戦したり、新しいスキルを活かす

### つながる未来

- ・ 色々な人や場所がつながり、距離を感じなくなることで寂しさがなくなる

#### 地域が身近な未来

- ・ 新しく地域に訪れた人が少しの勇気で溶け込むことができる

#### 誰もが安心してつながりのある未来

- ・ 子供からお年寄りまでデジタルの新しさに対応できている一方で、デジタルにより人とのつながりが減ることなく、人と人、人と自然、人と文化など三重県の昔からある温かさ、つながりが大切にされている

#### みんなで一緒にいく未来

- ・ みんながデジタル社会に対する不安を持たずに、共に歩んでいく

#### みんな歩んでいく未来

- ・ 三重県が一体となってDXを進め、みんなと共に進められるように教え合っていく

### ITリテラシーのいない未来

- ・ 学ばずとも自然と触れるように、デジタルが当たり前前に存在している

### 誰もが主役になれる未来

- ・ デジタルを使いこなしながら、自分の目指す生き方ができる。子供も大人も関係なく主役になれる

### 個人の能力を発揮する未来

- ・ 仮想世界が広まると、人間は存在するだけでは残れない。自分の得意分野を発揮する

### 夢が実現でき、夢が描ける未来

- ・ 将来の方向性を定めるのは、AIでなく人間。夢を表現して実現できるよう、自由な発言を大切にしたい

### 個人事業主が輝く未来

- ・ 個人のやりたいことが発揮できる受け皿があり、大手小売店に頼らなくても、街としての楽しさがある

### 個性を認知して実現できるような未来

- ・ 自分の個性を認知して、キャリア形成をはじめ様々なかたちで自己実現できる

### 技術じゃなくて人がスマートな未来

- ・ 技術を使う側の人こそが大切

### 学び続ける未来

- ・ AIと共生し、クリエイティブな仕事を人が担ったり、高齢になっても教育を受け直して働いたりできる

### 発揮しないと残れない未来

- ・ AIが広まっても、人間しか持っていないスキルを発揮して生き残る

### 自然と文化の多様性に裏打ちされた豊かさを 楽しみ、賢く使う人の密度が高い未来

- ・ 楽しんでいく、テクノロジーは賢く使う

### 人のことを思いやる、理解することを大切にする未来

- ・ AIが広まり多様性が増しても、人が主体でお互い理解することを大切にする

### 感覚を大切に作る未来

- ・ 仮想と現実が共存する中で、触れるものや匂いなど現実世界の感覚を大切にする

### ダイバーシティ&インクルージョンな未来

- ・ 色々な価値観を受け入れる事のできる寛容さを持って、色々な人に来てもらう

### 虹でつながる未来

- ・ 自分の好きな人と好きな方法で、7色にも分けられないような多様な働き方ができる

### 皆で作る未来

- ・ Zoom等のオンライン会議ツールを使って他国や他県の人たちと三重県を作り上げる

### フラットな未来

- ・ 全ての人が情報や他人を理解する力を持っていて、お互いがフラットに関われる

### いいとこどりの未来

- ・ 自然など三重県のいいところは残し、デジタルを活用して世代やジェンダー、国を超えより多くの、多様な人と交流できる

### 不易流行な未来

- ・ 本質的なものは変えず、変えるべきもの（ジェンダー平等の世界観の受容）は変えていく

### 活気あふれるような未来

- ・ 高齢化社会のようなどんよりした未来は嫌。楽しい未来がよい

### 子育てや老後に希望が持てる未来

- ・ 生活への過度な心配があると、自分のしたいことや夢を持つ余裕がなくなる。子育て、老後に限らず、自分の生活に希望が持てる

### 誰もが取り残されることのない多様な未来

- ・ 交通弱者や出身、障がいによるハードルを無くす

### とり残されない未来

- ・ コロナ等の困難な時でも、支援の必要な人を取り残さないようにオンラインなどで支援する

### 利他的な未来

- ・ AIやモビリティの発達で生活に余裕が出来、他の人にも目を向けられる

### 人々が生き生きと生活しみんなで助け合える未来

- ・ AIやデジタル技術を活用することで困っている人を含めてみんなの助けになる

### 郷土が力をもつ未来

- ・ 地方自治の力を発揮している

### シンプルな未来

- ・ テクノロジーの発達により市町の差がなくなり、県として一体感を持つことができる

### 未来を具体的に語れる政治家のいる未来

- ・ 未来に関する検討に関して、その過程も含めてオープンにするような政治が行われている

### 災害の被害が少なくてみんなが豊かな生活ができる未来

- ・ 災害の被害が少なく、みんなが豊かな生活ができる

### 今よりも生活しやすい未来

- ・ 交通の不便さがなくなり、さらに仮想空間での交流もしやすくなっている。自然災害や感染症拡大があっても、生活様式を変えずに済む仕組みができている

### どこからでもアクセスできる未来

- ・ 移動の自由が担保され、さらに博物館などの文化施設や文献などにどこからでもアクセスができる

### やっぱり良かったミエ・未来

- ・ どこにでも行けるようになって、三重県に住む意味を見出すことができる。子育てや教育、婚活など様々なことがしやすい環境になり、三重県がDXをやってよかったと思える

### 三重LOVEな人だけで作る幸せな生活にあふれた未来

- ・ 土地、仕事、食、生活、言語、気候など「三重のこのエリアでないといけない」という三重LOVEな人達で「あえてのリアル」を楽しみながら、バーチャル中心で差別も不安もなく幸福を互いに作る

### 個性があって選ばれる未来

- ・ 個性があり、三重県が旅行先、働く先、取引先、移住先、投資先などとして選ばれる仕事も生活も観光も豊かな未来

### 「自分は三重県出身/住みだから安心だ」と言える未来

- ・ DXが進み競争環境が激しくなる中でも、三重県にいるからこそ感じられるアドバンテージがある

### ゆっくりと便利な未来

- ・ 現状不便なところはDXやモビリティの進化で便利に変えつつ、三重県特有のゆっくり過ごせる空気を残す

### 自分の大切なものを残していける未来

- ・ 知識や自分の大切なもの（命、変わらない景色、大切な人）を残す

### おいしい未来

- ・ 三重県にあるおいしい食べ物を大切にする

### 三重県らしさはそのままに、より充実した未来

- ・ 自然や食など三重県らしさを残しつつ、自分自身が幸せに充実した暮らしをしている

### 衣食住に於いて「身体に優しい三重」

- ・ 人間回帰を大事にし、有機農産物を使用するなど衣食住において優しいものを使う

# 「未来の三重のありたい姿」のまとめ

「未来の三重のありたい姿」は「県民の皆さんの生活」、「県民の皆さんと社会」、「社会の構造」、「三重県の魅力」に整理されます。

## 県民の皆さんの生活

- ✓ DXによって時間に余裕が生まれ、本当にやりたいことができる
- ✓ それぞれの地域でDXが進み、住みたい場所で自由に働き住み続けられる
- ✓ デジタルを通じて増えた多様なライフスタイルから自由に選択できる
- ✓ 仮想空間を柔軟に取り入れ、デジタルにも生活圏が広がる
- ✓ デジタルで人とのつながりが日常化し、孤独を感じず三重の暮らしを楽しみ続ける

## 県民の皆さんと社会

- ✓ デジタルが自然と生活に溶け込んで、意識しなくてもよくなる
- ✓ 一人ひとりがデジタル社会に適応し、新たな幸せを見出している
- ✓ 多様なバックグラウンドを持つ人が、自分らしく暮らしている

## 社会の構造

- ✓ デジタルを最大活用して将来的な社会不安が解消される
- ✓ 自己実現を果たす人の元気がめぐり、みんなで助け合える
- ✓ みんながデジタルでつながって、チカラを合わせて社会課題解決をする
- ✓ デジタルを最大活用して自然災害や感染症拡大に備え、いつもの暮らしが続けられる

## 三重県の魅力

- ✓ いち早くデジタルの恩恵が行き渡り、みんなに選ばれる誇り高い三重になる
- ✓ デジタルによる進化と、今ある三重県の魅力を守ることを両立する

「みえDX未来動画 2050」を用いた未来に対する共通認識の形成とインタビューからの未来を考える視点の導出を踏まえ、ワークショップを通じて「デジタル社会の未来像 2050」を導出しました。

## ワークショップから見えてきた2050年のデジタル社会の未来の姿

県民の皆さんの生活

県民の皆さんと社会

社会の構造

三重県の魅力

ワークショップを実施し、62個の「未来の三重のありたい姿」を導出

## インタビューから見えてきた未来を考える視点

人間の仕事はどう変わるか、どのような働き方をするべきか

住みたい場所に住み続けるために、暮らしや移動はどうあるべきか

県内外含め、どのような人との交流、関係性構築があるべきか

社会が変化する中で、三重に残すべきものは何か

インタビュー実施

## みえDX未来動画 2050における想定されうる未来の構成要素

わたしたちが直面する課題

DXがもたらす社会や暮らしの変化

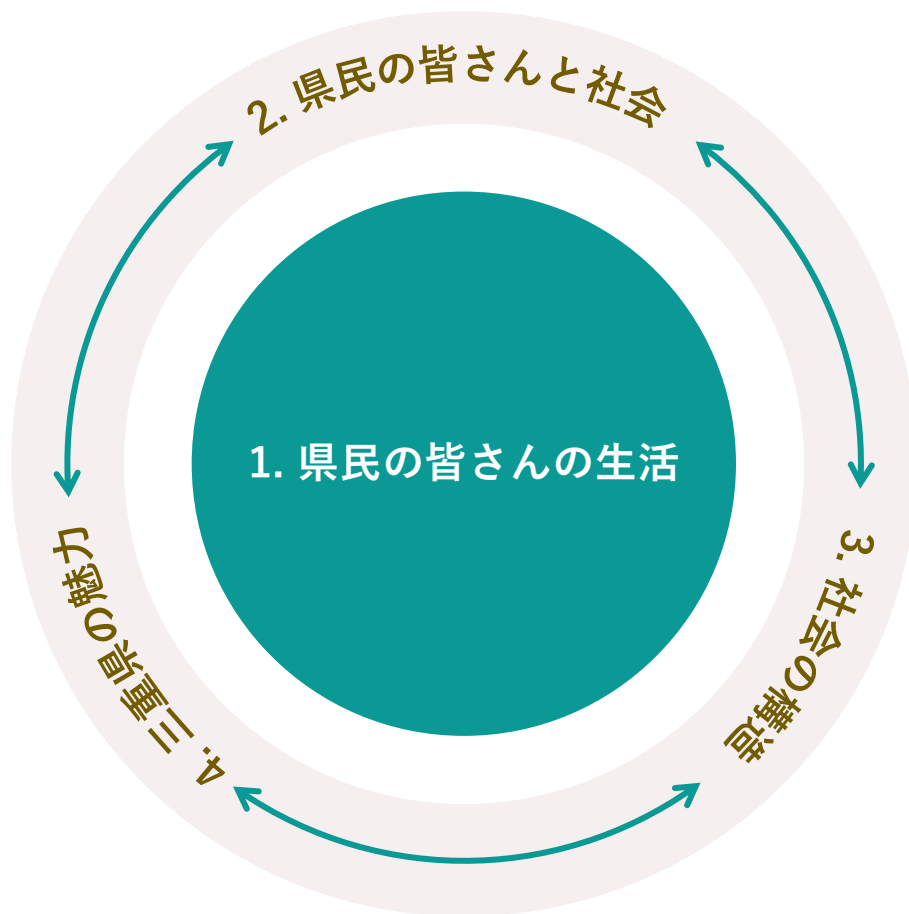
テクノロジーの進化による未来の可能性



## 3. デジタル社会の未来像 2050

「未来の三重のありたい姿」をもとに導き出された「デジタル社会の未来像 2050」の4つの項目は、「県民の皆さんの生活」を中心に相互に作用しあい、高めあう関係にあります。

## デジタル社会の未来像 2050



### 【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、DXによって一人ひとりの時間や気持ちに余裕が生まれて、それぞれが本当にやりたいことができるようになります。

さらに、それぞれの地域でDXが進んで、住みたい場所で自由に働き、住み続けられるようになり、仮想空間も柔軟に取り入れたりして、多様なライフスタイルから自由に選択できる社会となっています。

また、物理的な距離が離れていてもデジタルで人とのつながりが日常化し、孤独を感じずに三重の暮らしを楽しみ続けることが出来ています。

### 未来像に関連する県民の皆さんの想い (抜粋)

自分が本当にやりたいことに時間があてられるようにしたい！

住む場所や生活の仕方を好きに選びたい

仮想空間ならではの新しい事がしたい

歳をとっても若々しく、趣味や好きなことをして人生を謳歌したい！

色々な人や場所がつながって距離を感じなくなることで、寂しさがなくなるという



### 【デジタル活用の主な観点】

#### ▶ 心豊かな暮らし (ウェルビーイング)

(それぞれが本当にやりたいことができる)

事業者・行政等の組織や社会の合理化・効率化だけでなく、多様なバックグラウンドを前提とした多様なライフスタイル・多様な価値観を包摂し、一人ひとりが孤独を感じずに心豊かな暮らし (ウェルビーイング) に向けた「あったかいDX」の実現を目指すという観点。

#### ▶ 行政サービス100%デジタル化

(一人ひとりの時間や気持ちに余裕が生まれる)

デジタルを前提とした社会システムの再構築に向けて利用者中心の行政サービス改革を徹底し、デジタル化3原則 (デジタルファースト、ワンスオンリー、コネクテッド・ワンストップ) を遵守することによって、多様な利用者から見て一連のサービス全体が、「すぐ使えて」、「簡単」で、「便利」な行政サービスの実現を目指すという観点。

#### ▶ 都市に負けない利便性と可能性

(住みたい場所で自由に働き、住み続けられる)

次世代モビリティの実装、仮想空間の利活用、リモートワークの促進、AI・IoT・ロボティクスの活用などを通じて、都市に負けない利便性と可能性をもって、地域の持続可能な環境・社会・経済 (サステナビリティ) の実現を目指すという観点

#### ▶ ライフとワークの双方におけるDX

(多様なライフスタイルから自由に選択できる)

事業者・行政等の組織におけるDXだけでなく、家庭における家事・育児・介護などのDXも推進することにより、ライフとワークの双方におけるDXの推進を目指すという観点

#### ▶ 時間と空間の制約を取り払う新たなコミュニケーション

(物理的な距離が離れていてもデジタルで人とのつながりが日常化する)

バーチャル空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより生じるリスクに対応しながら、時間と空間の制約を取り払う新たなコミュニケーションの実現を目指すという観点

### 【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、一人ひとりのデジタル社会への適応が進み、デジタルが自然と生活の中に溶け込んで、意識しなくても活用できるようになります。

また、誰もが学びや成長、個性を発揮する機会を得られることで、新たな幸せを見出しています。

そして、多様なバックグラウンドを持つ人々が自分らしく暮らし、尊重し合う寛容な社会となっています。

### 未来像に関連する県民の皆さんの想い (抜粋)

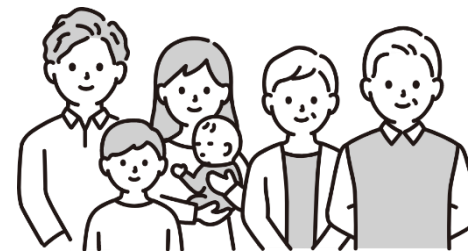
AIとうまく共生したい！

デジタルを使いこなしながら自分の目指す生き方がしたい！

価値観の違う人にも寛容な地域になって、もっと色々な人に来てほしい

より多くの人と交流したい。  
同時翻訳で海外の人の意見も聞きたい

ITは「学ぶもの」だけど、DXは「自然と触れていくもの」だと思う



### 【デジタル活用の主な観点】

#### ▶ デジタル社会への適応を牽引するDX人材

(一人ひとりのデジタル社会への適応が進む)

地域・事業者・行政等においてデジタル社会への適応を牽引するDX人材の確保や育成の実現を目指すといった観点

#### ▶ デジタル社会への適応に向けた学び直し

(新たな幸せを見出している)

世代やジェンダー、言葉の壁、障がいの有無に関わらず、希望する誰もがデジタル社会への適応に向けて学び直し学び続ける機会の実現を目指すといった観点

#### ▶ 行政サービス利用者の体験価値の向上とデジタル格差の抑止

(多様なバックグラウンドを持つ人々が自分らしく暮らす)

誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう、デジタルに不安感のある人々に寄り添い、デジタル格差を生まない・拡げない・連鎖させないことを前提として、あらゆる行政サービスを見直し、特別の知識や複雑な操作を要しないシンプルな設計によるデジタル化の推進など、利用者目線に立った徹底的な利便性の向上と体験価値の向上の実現を目指すといった観点

#### ▶ 一人ひとりの多様性を重視する社会づくり

(多様なバックグラウンドを持つ人々が尊重し合う寛容な社会)

ジェンダーギャップを解消し、若い世代・子育て世代・高齢世代など多世代が新たな社会づくりへ参画することにより、一人ひとりの多様性を重視する社会の実現を目指すといった観点

### 【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、デジタルの最大活用によって、少子高齢化・人口減少・経済・環境などの社会不安への対応を進めながら、安心した暮らしが続けられるようになっていきます。

また、DXによって時間の余裕が生まれ、自己実現を果たす人の元気がめぐり、みんなで助け合える社会になっています。

さらに、みんながデジタルでつながって、一人ひとりのチカラを合わせて社会課題を解決しています。

### 未来像に関連する県民の皆さんの想い (抜粋)

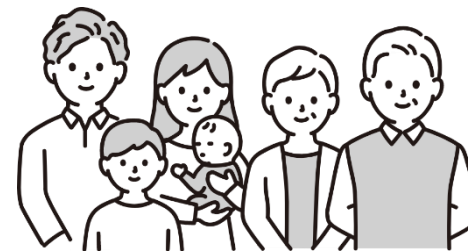
感染症拡大や自然災害があっても生活様式が変わらなくて済む仕組みになってほしい

子育て、老後に限らず、自分の生活に希望が持てる未来が良い！

AIやモビリティの発達で生活に余裕が来ると、他の人にも目を向けられそう！

高齢化社会のようなどんよりした未来は嫌

市町の差がなくなり、県として一体感をもちたい



### 【デジタル活用の主な観点】

#### ▶ 徹底的なオープンデータ化

(デジタルを最大活用する)

(一人ひとりのチカラを合わせて社会課題を解決している)

オープンデータを活用して県民の皆さん・事業者・大学・研究機関・NPO・行政等が各々の立場で相互に協力し地域課題の解決を図る「シビックテック」等の推進に向けて、事業者・行政等で徹底的なオープンデータ化の実現を目指すという観点

#### ▶ デジタルツインとデータ連携基盤

(社会不安への対応を進める)

様々なデータを基に、建物や道路などのインフラ、経済活動、人の流れなど様々な現実空間の要素を仮想空間に再現し、自然災害や地球温暖化の影響などの精緻なシミュレーションなどを行える「デジタルツイン」整備や、行政や事業者など地域内外の様々なオープンデータやビッグデータを仲介して連携させることにより新たなサービスを創出する「データ連携基盤」(都市OS)整備の実現を目指すといった観点

#### ▶ 県外スタートアップ企業と県内スタートアップ企業

(自己実現を果たす人の元気がめぐり、みんなで助け合える社会)

地域の社会課題を解決する意志のある県外スタートアップ企業と地元起業家や事業者・行政等との交流によって、県外スタートアップ企業の誘致や県内スタートアップ企業の創出・育成を推進し、三重の魅力や資源を活かした地域発の産業革新(イノベーション)の実現を目指すという観点

#### ▶ 利便性の向上と安全安心の両立

(みんながデジタルでつながる)

事業者・行政によるデジタルサービスの利便性の向上と、デジタルIDや暗号化技術などを活用したデータの本人性の確認、真正性・機密性・完全性・可用性の確保による信頼性の保証・証明や、サイバーセキュリティの確保、個人情報の保護などによる安全安心との両立の実現を目指すといった観点



### 【デジタル社会の未来像】

2050年の三重県では、一人ひとりにいち早くデジタルの恩恵が行き渡って、心豊かな暮らしが持続されています。

また、自然・食・伝統文化など、今ある三重の魅力を守ることとデジタルによる進化とを両立して、新しい三重らしさが創られています。

そして、住む場所、働く場所、旅行先など、みんなに選ばれる誇り高い三重になっています。

### 未来像に関連する県民の皆さんの想い (抜粋)

三重LOVEな人だらけで幸福を互いにつくるようなまちにしたい

三重県がDXをやっててよかったと思えるようになってほしい

個性があって、旅行先、働く先、取引先、移住先、投資先に選ばれる未来が良い

三重県に住み続ける意味の一つとして三重県らしさを残したい！

三重県にいるから感じるアドバンテージというのを作りたい！



### 【デジタル活用の主な観点】

#### ▶ デジタル活用度合いの把握と分析

(一人ひとりにいち早くデジタルの恩恵が行き渡る)

デジタル社会形成の進展状況の可視化と課題への適切な対応に向けて、県民の皆さん・事業者・行政等によるデジタル活用度合いの把握や分析と定常的な公表の実現を目指すといった観点

#### ▶ 県全域で快適なデジタルインフラ

(一人ひとりにいち早くデジタルの恩恵が行き渡って、心豊かな暮らしが持続される)

21世紀の基幹インフラとしてデジタルインフラを位置づけ、いつでも、誰でも、どこでもインターネットにつながるなどによって、県全域で快適なデジタルインフラの実現を目指すといった観点

#### ▶ 国際的な地域間競争に勝てる魅力

(自然・食・伝統文化など、今ある三重の魅力を守ることとデジタルによる進化とを両立する)

海・山の豊かな食材に恵まれた自然豊かで美しい三重の魅力を守るための課題解決や、デジタルを最大活用した観光資源の多言語対応、地域の歴史や未来の要素を深く学び直す教育の充実等によって、国際的な地域間競争に勝てる魅力の実現を目指すといった観点

#### ▶ 定期的に見直すデジタル社会の未来像

(新しい三重らしさが創られていく)

デジタルが非連続かつ指数関数的なスピードの変化を引き起こし不確実性が高まる時代への対応として、デジタル社会の未来像について、定期的な見直しの実現を目指すといった観点

#### ▶ DXによる地域の変化や成果が実感できる情報発信

(みんなに選ばれる誇り高い三重になる)

県民の皆さんが前向きに取り組みたくなるような伝え方・見せ方などコミュニケーションの取り方に工夫を凝らすことによって、県民の皆さんだけでなく県外の方々もDXによる地域の変化や成果が実感できる情報発信の実現を目指すといった観点



三重県



M I E